

商工観光政策研究会

平成26年2月3日(愛知県)

- アイシン精機株
- (株)フジドリムエアライズ

《視察研修》

岩手県との関わり合いがある2社の視察研修に参加してきました。

金ヶ崎町のアイシン東北株の親会社であるトヨタ系の自動車部品供給大手のアイシン精機株を訪問。

アイシン東北株は、現地調達拡大に非常に積極的に取り組んでいる。歴代の社長さんには、県の自動車産業振興アドバイザーに就任していただき、県内企業の訪問、助言等をいただいている。

フジドリムエアライズ株(FDA)は、震災直後から名古屋 いわて花巻空港路線を開設していただくとともに、観光物産PR、陸前高田市との交流事業等についても多大なご協力をいただいております。地方と地方を結び、交流の懸け橋となり、それぞれの文化や

経済の発展に貢献する事を企業理念としている会社です。

ぜひ旅行に花巻空港の利用も考えてください。



畜産議員クラブ現地調査

《遠野市・金ヶ崎町》
平成25年11月8日実施



県は、2年前の原発事故に伴い、放射性物質の影響を受け、牧草地の除染や廃用牛の適正出荷対策等、総合的な放射性物質対策に取り組んでいる

汚染牧草の中長期保管対策として、ペレットに減容化して保管する対策を実施している金ヶ崎町の取組や、県内最大規模の肉用牛周年預託施設を設置した、遠野市の大野平牧野の取組状況を現地調査しました。

・金ヶ崎町(汚染牧草ペレット化プラント) 金ヶ崎町においては、農家の軒先で保管されている利用自粛牧草を集中的に保管し畜産業者の早期の経営再開を図るために、利用自粛牧草の焼却処分に向けた一括管理を実施。

・遠野市大野平牧場(キャトルセンター) 子牛や母牛を畜産農家から預かり、育成及び飼養管理を行う。これにより、和牛繁殖農家の労力軽減及び付加価値の高い子牛の育成が可能となり、子牛生産農家の規模拡大(増頭)や担い手育成の支援強化が図られるとのこと。

NPO法人『大雪りばあねっと』レポート

やっと『大雪りばあねっと』(以下法人)の岡田代表(以下代表)が逮捕されました。岩手県(以下県)から山田町(以下町)に、町から法人へと23年度24年度の二ヶ年で12億円の緊急雇用対策事業からの補助金が交付されております。震災により働く場所のない人たちに働く場所を提供するための事業です。補助金のうち事業の趣旨に添わない旅費、研修、固定資産取得等に該当するとして6億7000万円が補助金返還の対象になりました。代表は私的に流用があったということ、先日逮捕されたわけですが、これで今回の不正な補助

葉たばこ・地域特産作物振興対策議員研究会現地視察

平成25年11月20日実施

◆平成25年産葉たばこの買入れ状況について

◆葉草生産の現状について

視察目的 本県の葉たばこ及び地域特産物の生産振興を図るため。

①視察先 日本たばこ産業株

東北地方原料本部 東北リーフセンター

平成24年竣工。葉たばこの買入れ、保管を行う施設であり、福島県を除く東北5県の葉たばこを扱っている。平成22年に廃止された旧盛岡工場(製品たばこ葉たばこ買入れ)の設備を活用し、買入れから倉庫保管までの流れがスムーズに行われるよう、各設備設置の適正化が図られている。

今年度の買入れ期間は、平成25年10月22日〜平成26年1月31日

②視察先 農事組合法人 岩手葉草生産組合「第一調整所」

葉草は、全量製薬会社との契約栽培により収益が安定しているほか、本県の冷涼な気象条件に適していることから、県北・中部の畑作地域(12市町村)を中心に栽培されている。

取扱い作物は、主にセンキュウ・トウキ・蘇葉・シヤクヤクなど10種類以上。栽培面積は約45ha。

医薬品原料として年々需要が高まっているが、除草等に農薬が使えず手作業とのこと。10aあたりの販売額を30万円以上の目標としている。進む産地化転作品目として期待されている。



トウキ

全国開拓青年・女性研修会 in 岩手

H25.11.19(火)~11(木) 一関・平泉・陸前高田

国内農業の担い手の一翼を担い、地域のリーダーとして活躍されている全国の開拓青年・女性が集結し、相互交流・現地視察・技術研鑽を図り、農業経営の改善と安定を目的として岩手県で研修会が開催されました。講演では、3年連続日本一に輝いた岩手高校将棋部の監督顧問をされている藤原隆史氏が「偏差値じゃない〜奇跡の高校将棋部〜」と題して、氏自身の熱意と部員のひたむきな努力を話されました。

ンチャン騒ぎをしているNPO法人がいるとの友人からの訴えから、現地に行き調査しました。県の補助金支出に問題が無いのか23年度の事業完了検査報告書を求め、不明朗な点20数項目を県・宮古振興局等に何度も説明を求めていましたが、当局の回答は当初問題無しとの説明に終始し、更に町は2億円の追加変更の補正予算を議会に提案の予定でした。しかし、12月に入り法人は資金が底を付いたとのこととで事業の中止となったところです。まずは追加の2億円を阻止できたのだと思っています。県議会も説明の為に沼崎前町長と菊池前振興局次長を参考人として説明を求めましたが、自分達には解らない、正規の手続きで対応してきたとの回答であります。振興局も山田町及び住民の皆さんも、不思議に思いながらも知らんぷりしてきただうにしか思われず残念でなりません。県も責任が無いと言う事だけでなく、しっかりと検証し再発防止に取り組んで欲しいと思っています。